



杉並区

スペシャルオリンピックス冬季世界大会

29.5.8
杉並区広報課

近藤瑞穂選手が金メダルを報告

8日午後4時、平成29年3月14日からオーストリア・シェラートミングおよびグラーツで開催された2017年スペシャルオリンピックス冬季世界大会のショートトラックスピードスケート333mで金メダルを獲得した近藤瑞穂(こんどうみずほ)さんが区長を表敬訪問しました。

近藤瑞穂さんは、区内在住で1995年生まれの21歳です。近藤さんは、学習と記憶に障害がありますが、幼い頃から父親の指導で、バレーボール・体操競技・スピードスケートを行ってきました。スペシャルオリンピックスのプログラムには、2008年より参加しています。また、世界大会では、2013年冬季のピョンチャンに、ショートトラックスピードスケートで出場し、333m、500mで銀メダル、222mでも銅メダルを獲得しました。

今回のオーストリア・シェラートミングおよびグラーツで開催された冬季大会は、世界107の国・地域から2,700名のアスリートが参加しました。近藤さんは、ショートトラックスピードスケート333mでは、念願の金メダルを獲得。また、500mでも前回大会同様の銀メダルを獲得しました。

スペシャルオリンピックスは、1968年に故ケネディー大統領の妹ユニス・シュライバーが、当時スポーツを楽しむ機会が少なかった知的障害のある人たちにスポーツを通じ、社会参加を応援することを目的として設立され、そのスポーツトレーニングの成果の発表の場として、オリンピックと同様に夏季・冬季の世界大会を4年毎に開催されています。

本日、5月8日午後4時、近藤さんは家族やスペシャルオリンピックス日本・東京のメンバーとともに、杉並区役所の田中良区長を表敬訪問し、金メダル獲得の喜びを報告しました。近藤さんは、「前回の大会では獲れなかった金メダルをもらえてよかった。4年後もがんばりたい。」と笑顔で話していました。



【報道機関問い合わせ先】

認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京 TEL03-3615-5569
区民生活部スポーツ振興課 TEL3312-2111 内線1671